

～2019年(令和元年)を振り返る～

市職員が選んだ



鹿島市 10大ニュース

(1) 旧市民会館 53年の歴史に幕

1966年(昭和41年)の完成から53年の間、市民の文化・芸術の活動拠点として役割を果たしてきた旧市民会館が3月31日をもって閉館しました。閉館セレモニーでは、旧市民会館にまつわる思い出のライドショーや参加者全員での記念撮影を行い、最後に閉館宣言がなされました。旧市民会館は解体され、跡地に新しい市民会館の2021年度完成に向け進めています。新市民会館が、身近な文化活動の新たな拠点として、また、マチのシンボルとして長い間市民の皆様親しまれるような施設となるよう取り組んでいます。



3月31日に閉館した旧市民会館のホール

(2) 天皇陛下即位奉祝パレードに母ヶ浦面浮立 九州で唯一出演！

「平成」から「令和」へと改元された本年、天皇陛下即位をお祝いする国民祭典が11月に行われました。その第1部となる「奉祝まつり祝賀パレード」に母ヶ浦面浮立が出演しました。全国から選ばれた15団体の中で、九州から唯一の出演となった母ヶ浦面浮立は、皇居前広場内堀通りの会場約600メートルで、勇壮な踊りを披露され、沿道からは多くの拍手や声援が送られました。



皇居前広場で披露する母ヶ浦面浮立

(3) 鹿島市からも支援 8月豪雨で県内に大きな被害

8月27～28日にかけて、九州北部を中心に記録的な大雨が降りました。近隣の武雄市や大町町などでは、家屋の浸水や道路の冠水などが多数発生し、犠牲者が出るほどの甚大な被害となりました。市では、協定に基づき、備蓄食料や資材の提供、職員派遣などの支援を行いました。職員派遣は、9月3日から10月25日の間、災害ゴミの仕分けや家屋被害認定調査などに延べ90人が従事しました。また、これとは別に消防団数十人が2回にわたって支援に向かいました。



災害ゴミ受入作業の様子(武雄市)

(4) 定住促進へ 市営中村住宅完成！

本年2月、北鹿島中村区に「市営中村住宅」が完成しました。中村住宅は、民間資金等を活用し公共施設等を整備するPFI事業により建設し、民間のノウハウを活かした利用者が快適に過ごせる住宅です。現在も、公営住宅20戸と定住促進住宅20戸は満室で運営しており、定住人口の促進や地域の活性化を期待しています。



「市営中村住宅」（公営住宅20戸、定住促進住宅20戸）

(5) 鹿島市干潟交流館「なな海」オープン！

有明海特有の生き物を展示したミニ水族館などを備えた鹿島市干潟交流館が4月にオープンしました。有明海の生態系や干潟の環境を学べる施設として大変好評を得ており、多くの家族連れなどで賑わっています。交流館の愛称は全国から募集し、応募の中から、鹿島市立東部中学校1年生の山下涼榎さんの「なな海」に決定しました。「なな海」には、七色の虹のような架け橋になって多くの方が来場するようとの思いが込められています。また交流館は、修学旅行生を中心に多くのお客様が来られる干潟体験シーズンには、干潟体験の事務所やシャワー室としての機能も果たします。



4月にオープンした鹿島市干潟交流館「なな海」

(6) 鹿島高校が優勝 全国eスポーツ選手権！

最近、注目を集めているeスポーツ。そのeスポーツの第1回全国高校選手権の決勝大会が本年3月に千葉県の幕張メッセで開催され、出場した鹿島高校がロケットリーグ部門で優勝し、初代王者に輝きました。eスポーツ（エレクトリックスポーツ）とは、コンピュータゲームをスポーツ競技として捉える際の名称です。出場したロケットリーグ部門は、全国から60チームが参加し、鹿島高校は準決勝で、プロゲーマーを擁する優勝候補の高校を破っての優勝となりました。



全国高校eスポーツ大会に出場した5人

(写真提供：佐賀県eスポーツ協会)

(7) 大河ドラマ「いだてん」トークツアー in 鹿島市開催！

本年5月、鹿島市の祐徳稲荷神社参集殿で、大河ドラマ「いだてん」主演の中村勘九郎（金栗四三役）さんら3人を迎えて、トークツアーを開催しました。トークツアーは、金栗四三が箱根駅伝創設者で、鹿島市が箱根駅伝出場大学合宿地という箱根駅伝つながりが縁で実現しました。当日は、遠くは関東をはじめ県内外から約750人ものお客様に来ていただき、会場は熱気にあふれ、立ち見が出るほどでした。また、ご来場のお客様に、市内を巡って鹿島の魅力を感じていただけるようなパンフレットを配布するなど、鹿島ファンの拡大を図りました。



トークツアーに出演した中村勘九郎さん（中央）
古舘寛治さん（左）、久保勝史さん（右）

(8) 鹿島の高校が高校総体で大活躍&NHK杯野球大会優勝！

今年の県高校総合体育大会は、鹿島の高校（鹿島高校、鹿島実業高校、新鹿島高校）の選手が大活躍しました。ソフトボール女子と弓道男子が優勝し、個人でもレスリング57kg級森田珠海選手、80kg級北村勇氣選手、92kg級芹川力亜選手が、なぎなた競技（演技競技）では、森朋花選手、荒川夏羽選手がそれぞれ優勝を果たしました。また、NHK杯県高校野球大会で、統合チームの鹿島が、鹿島高校としては57年ぶり、鹿島実業高校としては、16年ぶりの優勝に輝きました。



市長へ優勝報告に来た鹿島の選手たち

(9) 肥前浜宿にゲストハウス2軒オープン！

肥前浜宿にゲストハウス2軒とそば屋がオープンしました。1件は、肥前浜駅前通り沿いの旧旅館を改修した「まる」で、もう1軒は、酒蔵通り沿いの伝統的建屋を活用した女性専用の「あんど」です。2軒合わせて30人程が泊まることができます。また、「あんど」の1階には、手打ちそばと角打ちのお店「龍庵」も同時にオープンしました。このゲストハウスは、国の補助金を活用し、「地元の肥前浜宿まちづくり公社」が開設したもので、待望の宿泊施設により、肥前浜宿の魅力がさらに高まりました。



肥前浜宿のゲストハウス
「あんど」（上）「まる」（下）

(10) 全国高校総文祭囲碁部門大会が鹿島高校で開催！

第43回全国高等学校総合文化祭の囲碁部門大会が鹿島高等学校赤門学舎の体育館で7月27日から2日間にわたり開催されました。総文祭は「文化部のインターハイ」とも呼ばれる高校生による芸術文化の祭典です。鹿島市は、平安時代に囲碁の名人で「碁聖」と称された寛蓮（かんれん）の生誕地です。その地に、全国から232人の高校生棋士が集まり真剣勝負が繰り広げられました。



総文祭囲碁部門大会の様子
（赤門学舎体育館）